

住みよい高砂・南地区のまちづくり

南地区勉強会ニュース

第3号

平成24年5月

平成23年度の勉強会の取組みを

ご報告します！

平成23年度、南地区まちづくり勉強会では、7回の会合を開催しました。まちのよいところ・改善したいところの話し合いやまち歩きで、まちの課題を確認することができ、南地区のまちづくりの方向性を見出すことができました。

事例視察では、各地のまちづくりの取組みを学び、まちづくりには、住民の熱意と行政との協力で、一歩ずつ進めていくことが必要であることがわかりました。

勉強会ニュース3号では、平成23年度の検討のまとめを、ご報告します。



公園として整備してほしい東京ガスアパート跡地
(第3回勉強会 まち歩きのようす)

平成23年度 南地区勉強会の経過

■第1回勉強会

- ・平成23年10月26日
- ・事例視察（石神井公園駅周辺・東池袋4・5丁目地区のまちづくり）

■第2回勉強会

- ・平成23年11月18日
- ・まちの良いところ・改善したいところ

■第3回勉強会

- ・平成23年12月3日
- ・まち歩きとまち歩きマップの作成

■第4回勉強会

- ・平成23年12月15日
- ・事例視察（武蔵小山駅周辺と林試の森公園周辺・東京臨海広域防災拠点「そなエリア東京」）

■第5回勉強会

- ・平成24年1月31日
- ・まちの課題確認と課題解決方法の検討

■第6回勉強会

- ・平成24年3月8日
- ・事例視察（東京スカイツリー・曳舟駅周辺のまちづくり）

■第7回勉強会

- ・平成24年3月26日
- ・事例視察のおさらいと地区計画の学習
- ・まちの課題確認と課題解決方法の検討

発行元：高砂地区開発協議会 会長 本田幸一

協力：葛飾区都市整備部街づくり推進課高砂地域整備担当

（担当：田中・中村・飯田）

電話 03-5654-8344（直通） 03-3695-1111（内線3412）

ファックス 03-3697-1660

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

平成23年度の勉強会のまとめ 『南地区のまちづくりの方向性』を確認しました！

★南地区のまちづくりの方向性

誰もが安心して通ることのできるまちづくり

- ・安心して「歩く」ことのできるみちづくり
- ・人も自転車も自動車も安全に通行できる道路整備

防災性の高いまちづくり

- ・災害の危険性のない安全な環境づくり
- ・初期消火ができる、普段から火災に強いまち
- ・防災に役立つ公園づくり

「風情」を感じられるまちづくり

- ・水と緑が調和した、静かな住環境のまち
- ・昔の面影やまちのよいところを伝えるまちづくり

仲良く暮らせるまちづくり

- ・子どもからお年寄りまで仲よしコミュニティづくり

第5回勉強会では、まち歩きの結果をふまえて、まちの課題を確認し、課題解決の方法について、意見交換を行ないました。

第7回勉強会では、高砂地区全体におけるまちづくりの動向を学び、骨格幹線道路等の整備と一体となって市街地整備を行う「重要な基盤整備を促進させる」検討地区であること、区都市計画マスタープランで「広域生活拠点」の位置づけがあることを確認しました。また、視察した先駆事例に共通のまちづくり手法「地区計画（まちづくりのルール）」について学習し、まちづくりの方向性と今後の検討内容について話し合い、今年度のまとめとしました。

● 学んできました！ 事例視察（第6回勉強会）

3月8日（木）に、今年度3回目の事例視察を行ないました。31人が参加し、墨田区のスカイツリーと曳舟駅周辺のまちづくりを視察しました！

東京スカイツリーを核としたまちづくり
（押上・業平橋駅周辺のまちづくり）



インフォメーションプラザの屋上から見上げるスカイツリー

東京の新名所スカイツリーや、商業施設、水族館、ドームシアターなどのある複合商業施設「東京ソラマチ」など、国際的な観光拠点をめざしたまちづくりが進んでいます！



街区内は木造住宅が密集

駅前商業地として、大規模店舗と商店街が調和したまちづくりを進めています。密集市街地の改善もまちづくりの目的です！

曳舟駅周辺のまちづくり
（駅前まちづくりと密集市街地の解消）



新しくなった商店街の通り

…まちの課題と課題解決の方法、検討の進め方…

道路の課題

- 狭い道路の解消
- 行き止まりの解消
- 歩行者、自転車、自動車それぞれの動線確保
- 歩行者、自転車、自動車それぞれの安全性確保

課題解決の方法

- 4 m未満の狭い道路の拡幅整備
- 隅切り確保
- 狭い道路の後退の遵守
- 大事な道路の拡幅整備

公園の課題

- 一時避難場所になる公園の確保
- 防災の役立つ公園整備
- 日常の憩いの場としての公園整備
- 歩行者の動線となる通り抜けできる公園整備

課題解決の方法

- 東京ガスアパート跡地の公園整備
- 通り抜け公園の整備
- 災害時に役立つ施設として整備

まちの防災性の課題

- 火災からの安全性の確保
- 地震による建物やブロック塀の倒壊防止
- 水害時の避難場所の確保

課題解決の方法

- 防火水槽の確保
- わかりやすい消火栓表示
- 木造住宅の耐震性確認
- ブロック塀の生垣化
- 水害時の避難場所確保

課題解決のための検討の進め方

- ⇒ 鉄道立体化、車庫の移転、高砂団地の建替えなど、高砂全体のまちづくりの動向を捉えた検討が必要
- ⇒ 駅へ向かう交通の流れを把握した道路網の検討が必要
- ⇒ 建替えにあわせてまちを改善していく「まちづくりのルール（地区計画）」の検討に取り組む



第5回勉強会の様子



第7回勉強会の様子

平成24年3月11日（日） 高砂音楽祭

● まちづくりのPR活動に取り組みました！



テントに入れないほどの人が集まった場面もありました。



クイズも行いました。景品は家庭で使える防災グッズです！防災の備えも、まちづくりの大事な要素です。

高砂地区開発協議会・駅周辺地区勉強会・南地区勉強会は、高砂音楽祭に参加し、これまでのまちづくりの取り組みの紹介とまちづくりアンケートを行いました。

アンケートには468人の方にご回答いただきました。開かずの踏切の解消、狭い道路、危険な道路の改善が望まれていることがわかりました。



南地区のまちづくり・Q&A

まちづくりや鉄道立体化など、皆様のご質問にお答えします。

Q: 鉄道立体化は、今、どんな状況ですか？

京成高砂駅から江戸川駅間は、平成20年6月に、東京都において、鉄道立体化の事業化を目指す「事業候補区間」5区間のうちのひとつに選ばれました。現在、車庫の移転や鉄道の立体化について、東京都、江戸川区等各関係機関と事業化に向けた協議を進めています。

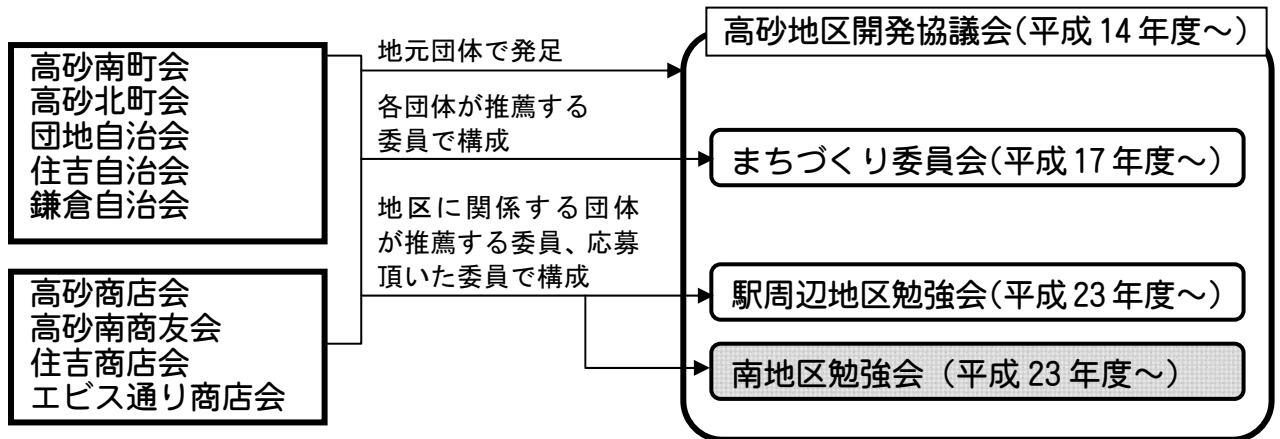
Q: 鉄道立体化とまちづくりは、どうして関係があるのですか？

鉄道が立体化することにより、鉄道で分断されていたまちが一体化し、これまで通れなかった部分に横断道路が整備され、まちの回遊性が向上します。また、側道や駅前広場等を整備することと併せてまちづくりを行うことにより、沿線地域の道路状況や生活環境が改善され、総合的なまちの再生、活性化に取り組むことができます。

Q: なぜ南地区で勉強会が発足したのですか？

平成22年度に行われたアンケートで、皆さんから「安全・安心な住宅地の形成が必要」とのご意見が多くなっています。そのための具体的方法を今後、議論していきます。

Q: 高砂地区開発協議会と勉強会は、どんな構成になっていますか？



南地区のまちづくりや勉強会についてのお問い合わせ、勉強会ニュース第3号を読んでのご感想・ご意見などがありましたらお知らせ下さい。

お名前
 お電話番号：
 FAX 番号：



高砂地区開発協議会事務局
 葛飾区役所 高砂地域整備担当
 FAX : 03-3697-1660